

短絡接地器具の小型軽量化 (小型軽量アースフック)

試作器



小型軽量アースフック

質量：3.2kg（収納袋を含む）
大きさ：450×450×70mm

従来品の例

軽量化▲35～48%、装着時間の短縮、
4種類を一つに集約、コストダウン（試算中）



L型

質量：6.0kg
大きさ：450×450×120mm



電源用

質量：5.5kg

ニーズ

・短絡接地器具（アースフック）の小型化、軽量化

コンセプト

・短絡電流試験などの仕様を最適化して小型軽量化、作業性の向上を図る

構成

・高圧6kV三相を短絡接地する接続端子部と高圧絶縁電線などで構成

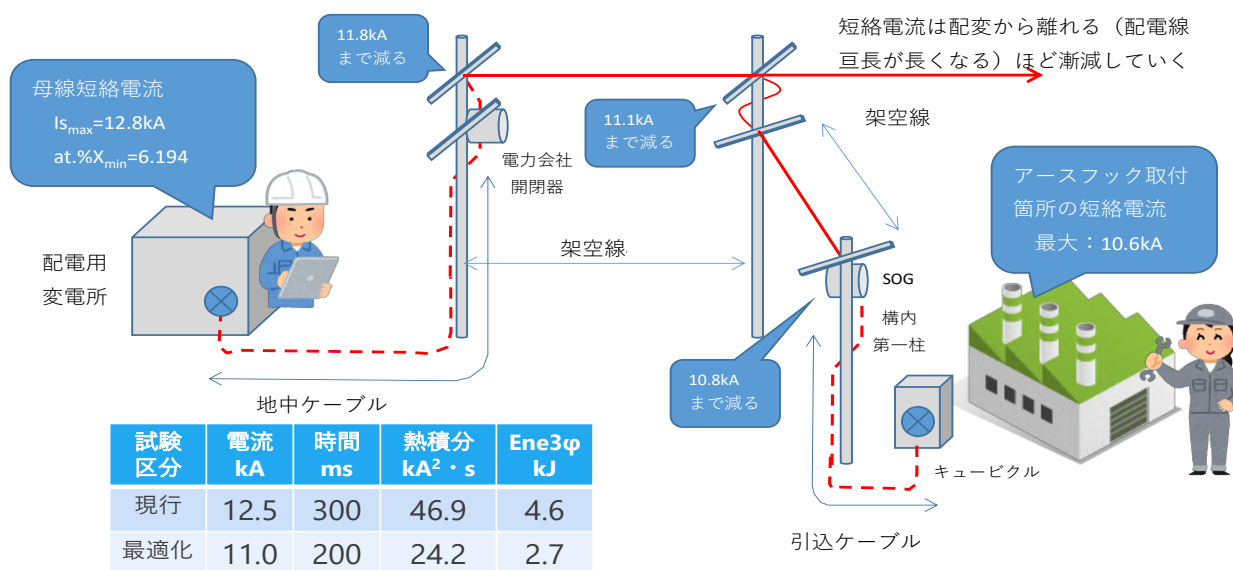
特徴

・短絡電流により発生する電磁力と発熱に耐えることができる構造
・労働安全衛生規則、日本産業規格などの関連法規・規格に適合する

使用方法

・停電作業時に誤通電、他の電路との混触、誘導による感電の危険を防止するため
これ（短絡接地器具）を用いて確実に短絡接地をする

短絡電流試験の仕様



- ・短絡電流は電力会社の変電所が想定最大12.8kA⇒受電キュービクルは11kAで十分
⇒試験仕様を最適化（上表のとおり）
- ・成果は電気学会/電気設備学会の全国大会で論文講演済み

今後の扱い

- ・試作器の検証を行って、製品化に向けて開発予定